

平成 27 年第 6 回江差町議会臨時会資料

資料 1 : 地域ケア会議定着推進事業概要……………	P	1
資料 2 : 江差追分漁港(泊地区)船揚場附帯施設整備事業概要……………	P	2
資料 3 : 江差町商店街活性化対策事業概要……………	P	3
資料 4 : 江差町 P R 用多言語化 D V D 作成事業概要……………	P	4
資料 5 : 「日本で最も美しい村」連合活動の概要……………	P	5
資料 6 : 観光振興事務(北前船寄港地フォーラム開催地誘致対策)概要……………	P	8
資料 7 : 江差追分会館ユニバーサルデザイン化改修等事業概要……………	P	10
資料 8 : かもめ島島上建築物被害状況……………	P	11
資料 9 : いにしえ街道「憩いの場(湧水)」環境整備……………	P	12
資料 10 : (株)ユーラス江差風力寄付金充当事業の概要……………	P	14
資料 11 : 江差中学校グラウンド等整備(湧水対策)の概要……………	P	15

地域ケア会議定着推進事業

【目的】

介護保険法第5条第3項において、住まい、医療、介護、予防、生活支援のサービスが一体的に提供される地域ケアシステムを構築していくことが、国及び地方公共団体の責務とされている。

中でも、地域ケア会議は、介護保険法第115条の4第1項に規定する介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他関係者及び関係団体により構成される会議を設置することとされ、地域ケアシステムを定着させる上で欠かせないものである。関係者が必要な知識と技術を理解するために、研修会の開催や町の関係者に理解してもらうための周知を行っていく。

【事業内容】

事業（タイトル仮称）	内 容	回数
行政・町内医療介護等研修会	町職員をはじめ、町内医療介護等多職種の専門職を対象とした地域ケア会議のあり方や活用方法について学ぶ技術向上のための研修会	1回
地域の関係者研修会	個別の地域ケア会議で出された課題に対して、町全体の問題点を抽出し、必要な資源開発や提案をしていくしくみを学ぶ地域ケア会議を推進していくための研修会	1回
地域ケア会議を含む地域包括ケアシステム周知事業	地域ケアシステムを理解し、その中の地域ケア会議の位置づけについて理解してもらうためパンフレット作成	1回

【事業費】 1, 010千円

【補 助】 国庫補助金（平成27年度地域ケア会議定着等支援事業費補助金）

補助上限額（1, 000千円）

補助率（10／10以内）

江差追分漁港(泊地区)船揚場附带施設(機械庫)整備事業の概要

＜所管課:産業振興課＞

＜補助事業＞

事業費:15,380千円(うち自己資金1,538千円)

事業主体:泊漁港船主組合

【補正財源構成】道支出金:6,921千円 一般財源:6,921千円 計13,842千円

事業の必要性

江差地区では、従前より回遊性魚種を対象とした漁船漁業に強く依存していたが、近年スケトウダラの資源減少やスルメイカの回遊不振、サケの来遊不振により漁獲は低迷し、漁家経営は逼迫している。一方で、浅海での採介藻漁業やナマコに代表される増養殖業の重要性が増しており、これに伴い浅海域で操業するための船外機船の使用頻度も高くなっている。

これら船舶の維持管理において、船を上架させるための船揚用機器は必要不可欠な施設であり、その機能維持のため各港において船揚用機器を保護するための機械庫が整備されてきた。

しかしながら、江差追分漁港(泊地区)の機械庫が整備後数十年以上を経過しており、錆や腐食により老朽化が進み強度・機能ともに低下している状況にある。このまま放置した場合、庫内への雨水の流入や施設の倒壊により船揚用機器に損傷を与える恐れがあるため、機能向上を兼ねた早急な対応が必要である。

事業の概要

■内容

江差追分漁港(泊地区)の北側船揚場機械庫及び南側船揚場機械庫の2か所の施設更新のため、既存機械庫の解体・撤去と新機械庫の設置を行う

■実施予定

11月上旬～3月中旬

■設置施設数

北側船揚場機械庫及び南側船揚場機械庫
2か所



【船揚場機械庫】

江差町商店街活性化対策(江光ビル解体等・PCB汚染機器処理分) <所管課：まちづくり推進課>

《補助事業》 事業主体：江差中央商店街協同組合

事業の内容

江光ビルの解体にあたり、電気設備の機器から微量のPCBが検出された。PCB汚染機器については、PCB特措法に基づき、所有者が認定処理施設において処分を行うこととなることから、江光ビル所有者である江差中央商店街協同組合において処分を行う。

■補正予算内容 PCB汚染機器の処分費用に対する補助
 (高圧トランス3台、遮断器1台、
 開閉器1台、高圧コンデンサ2台)

■補正予算額 2,016千円
 ※総事業費5,061千円（経産省事業補助3,045千円）

■機器別PCB検出量

※基準値 微量PCB：0.5～5,000mg/kg

分 類	PCB検出量
高圧トランス（変圧器）①	0.65mg/kg
高圧トランス（変圧器）②	1.50mg/kg
高圧トランス（変圧器）③	9.00mg/kg
遮断器	0.80mg/kg
開閉器	0.80mg/kg
高圧コンデンサ①	5.60mg/kg
高圧コンデンサ②	5.30mg/kg



高圧トランス 3台



遮断器 1台



開閉器 1台



高圧コンデンサ 2台

江差町PR用多言語化DVD作成事業の概要

【事業費】5,228千円

【助成額】2,600千円（事業費の1/2以内） <追分観光課>

事業の概要

2014年に日本を訪れた外国人観光客数は、過去最多の1,340万人となった。2015年1月から9月までの累計は1,448万人に達し、既に年間最高だった2014年を超えている。

道内においても、台湾からの来道者数は2013年度が41万5,600人で12年度に比べて1.5倍に増加。新千歳空港への中国、台湾等からの定期運航路線のほか、函館空港では台北や北京との国際定期便を就航するなど、道南における外国人観光客においても増加が見込まれている。

また、2015年3月26日の北海道新幹線開業も目前に控え、当町においても観光資源の多言語化や海外への情報発信等を展開し、年々増加している外国人観光客に対する受け入れ体制の整備を行うとともに、海外からの誘客を推進するため、既存の江差町観光PR用DVDの多言語化を制作し、地域の経済の活性化や観光の振興に寄与することを目的に実施する。

事業の内容

日本語版の観光PR用DVD（平成25年度制作：総合編8分、歴史・文化編28分）を4か国語のナレーション及び字幕スーパーを差し替えて作成。

①英語版 100枚 ②中国語「繁体字」版 50枚 ③中国語「簡体字」版 50枚 ④韓国語版 50枚

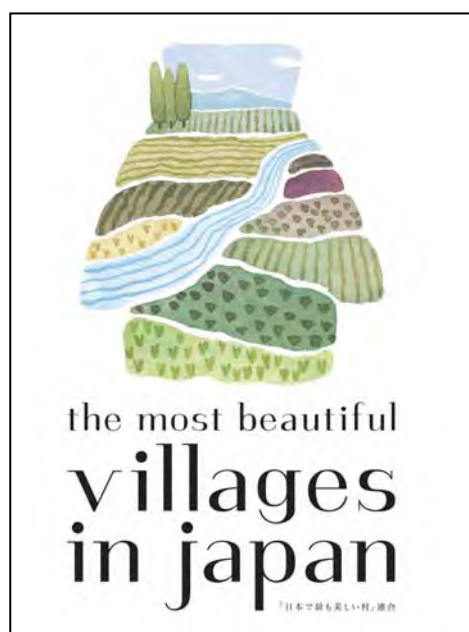
「日本で最も美しい村」連合に江差町の加盟が正式承認

NPO 法人「日本で最も美しい村」連合の臨時総会とフェスティバルは、10 月 2 日～3 日、長野県木曽町の木曽文化公園ホールで開催されました。総会には、全国に加盟する 59 町村地域と協賛するサポーター企業などから約 350 人が参加しました。

臨時総会では、当町を含む 4 町村 2 地域の新規加盟を承認しました。承認後、協定書の調印を行い、その後のセレモニーで、当町の加盟のポイントとなった「いにしえ街道」「江差追分」「姥神大神宮渡御祭」の映像とともに紹介されました。続いて、照井誉之介町長が登壇し、「日本で最も美しい村」を宣言し、同連合の浜田哲会長（北海道美瑛町）からサッシュ（肩章）と認定証のパネルが手渡されました。照井町長は加盟の挨拶に立ち、「江差町は先人が残してくれた歴史文化を守り育てている。日本が誇る民謡の王様、江差追分をはじめとする地域資源が連合加盟をきっかけとして、今後のまちづくりに向けての励みとしたい。また、北海道新幹線開業に向けて、連合加盟したことにより全国への情報発信ができると思っています。」と話しました。

今後、北海道の加盟町村 7 町村地域（美瑛町、赤井川村、鶴居村、標津町、京極町、黒松内町、滝川市江部乙（江差町とともに今回新規加盟））をはじめ、全国の加盟町村と連携を深めながら、当町の持つ歴史文化の振興と美しい景観づくりに力を入れる決意を新たにしました。

「日本で最も美しい村」の認定証は B2 判大のパネルで、美しい農山村をイメージした同連合のシンボルマークが描かれており、役場入口ロビーに展示しております。



「日本で最も美しい村」連合シンボルマーク

NPO 法人「日本で最も美しい村」連合

フランス発祥の活動を模範として 2005 年に設立。小さくともオンリーワンを持つ農山漁村が加盟し、美しい村のシンボルマークを目印として、将来に渡って美しい日本を目指す。加盟には審査があり、承認されない場合もある。

連合会長は、北海道美瑛町の浜田哲町長。

ホームページ <http://www.utsukushi-mura.jp/>

NPO 法人「日本で最も美しい村」連合は、北海道美瑛町が呼びかけとなり、平成 17 年に全国 7 町村が集まり設立しました。自然の美しさだけでなく、「人々の生活の営みによって作り出された景観、環境、文化」と言える地域資源が二つ以上あることが加盟の条件です。

当町は、「いにしえ街道」「江差追分」「姥神大神宮渡御祭」を登録資源として申請し、7 月の現地審査、町長ヒアリングを受けて加盟が認められました。

当町を審査した同連合会資格審査委員会の杉一浩副委員長は、「いにしえ街道」は、旧街道の道路拡幅と同時に電柱の地中化やかつての間屋蔵、商家、町屋などの歴史的建造物を残しながら「歴史を生かす街並み景観形成地区」としての保全活用を図り、また、人々の暮らしと直結した店が並び、蔵を生かして若者が起業するなど、古さの中に新しい息吹を感じるまちづくり、華の会による植栽活動などが定着し、独自性の高い地域資源と評価、また、「江差追分」は、日本を代表する民謡の一つであり、今後も絶やすことのできない地域の伝統文化であり、その伝承には注力をされているところですが、新たなファンづくりや若い世代の参画が課題です。「姥神大神宮渡御祭」は、蝦夷地最古（約370年）の祭礼として、豪華な山車（ヤマ）の維持、保存など伝統文化を受け継ぐ想いの強さを評価し、独自性の高い文化として地域資源としました。と高く評価をいただきました。しかし、課題も指摘され、一つとして、「自然環境や田舎としての景観のインパクトが弱く、北前船で栄えた風待ち港を強く訴えていく必要があります、そのなかで、かもめ島の活用を明確に」、二つ目として、「ヒバの復活を目指して「町民の森」の活用方法の検討」、三つ目として、「いにしえ街道は見せる観光から通年型や滞在型のツーリズムへの転換が必要」との助言もいただきました。

この加盟により、当町が進めてきたまちづくりが一定の評価を受けた一方で、不足している部分も再認識されたことから、当町の持つ地域資源を保全・活用しながら、他の加盟地と連携を深め、「最も美しい村」運動を盛り上げていきたいと考えております。

■江差町の地域資源

〈いにしえ街道〉

北海道の中で最も早く開港した港町のひとつである江差町。江戸時代から明治時代にかけて繁栄を築いた江差町には、数多くの歴史的・文化的遺産があります。この貴重な景観を後世に伝え、訪れる人に楽しんでもらおうと、歴史を生かすまちづくり事業として、歴史的資源が数多く集積している下町地区の「中歌町、姥神町一帯の旧国道沿い地区」を「いにしえ街道」として整備し、多くの観光客を迎え入れています。



〈江差追分〉

追分節は北前船によって江差に運ばれ、ケンリョウ節と追分を加えて独特の音調を持つ江差追分が誕生したと言われています。毎年9月第3金土日には、全国で予選を勝ち抜いてきた追分の唄い手たちが江差に集まり、日本一を競い合う江差追分全国大会が開催されます。昭和38年に第1回が開催されて以来、今日まで脈々と続く、民謡の全国大会としては最も歴史ある大会です。



〈姥神大神宮渡御祭〉

その起源は今を遡ること、およそ370年。毎年の豊漁によりニシン景気にわく江差の人々が、その年の終漁後、神様に感謝を込めて行ったのがこの大祭の始まりとされており、北海道最古の豪華絢爛な夏祭りは「いにしえ」の栄華を偲ばせます。





浜田哲会長（北海道美瑛町、左）、からサッシュ（肩章）と認定パネルを受けた照井町長。当町の他、青森県田子町、長野県原村、長野県伊那市高遠町、静岡県川根本町が新たに認められ、加盟数は 60 町村地域となった。



北海道から沖縄県まで全国の加盟町村の代表者が揃い、「日本で最も美しい村」としての活動をさらに推進していくことを誓った。
（前列右から 4 人目が照井町長）



加盟が承認され、参加者へ挨拶と決意を述べる照井町長

北陸三県
初開催

平成27年

11.13 金

第17回北前船寄港地 フォーラム in 加賀橋立・山中温泉

参加費無料

- 時間：午後1時30分～午後5時00分
- 会場：加賀市文化会館
(石川県加賀市山代温泉北部2丁目68)

歓迎レセプション

参加費有料

- 時間：午後6時00分～午後7時30分
- 会場：山中温泉 翠明
(加賀市山中温泉東町1-ホ10)

【主催】北前船寄港地フォーラム in 加賀橋立・山中温泉実行委員会

【共催】加賀市

【後援(予定)】国土交通省観光庁、石川県

(公社)日本観光振興協会、(一社)観光振興懇話会

西日本旅客鉄道株、東日本旅客鉄道株、北海道旅客鉄道株、

全日本空輸株、日本航空株、加賀商工会議所、山中商工会

(一社)山中温泉観光協会、山代温泉観光協会、片山津温泉観光協会

(一社)加賀市観光交流機構、石川県漁業協同組合、加賀農業協同組合

(順不同)

in 加賀橋立・山中温泉 「北前船文化とおもてなし」

第17回 北前船寄港地フォーラム

平成27年

11.14 土

研修

●現地視察 参加費無料

午前8時45分～午前10時30分

北前船の里資料館、重要伝統的建造物群
保存地区「加賀橋立 北前船主集落」の視察

●特別公演 参加費無料

午前11時～午後0時30分

会場：山中温泉文化会館

(石川県加賀市山中温泉西桂木町ト5)

演奏／本條 秀太郎 氏(三味線演奏家・作曲家)

第17回
石川県加賀市第15回
京都市中津市

- 第4回 北海道松前町
- 第8回 青森県
陸ヶ谷町・深浦町
- 第2回 秋田県にかほ市
- 第1回・11回 山形県酒田市
- 第6回 新潟県佐和田市
- 第9回 北海道函館市
- 第7回 青森県青森市
- 第3回・12回 秋田県男鹿市
- 第14回 秋田県秋田市
- 第5回・13回 新潟県新潟市
- 第10回 新潟県長岡市

第16回
大阪府大阪市

平成27年
11.13
金

フォーラム 午後1時30分～午後5時00分 **要申込** **参加費無料**

【会場】加賀市文化会館(石川県加賀市山代温泉北部2丁目68) TEL.0761-77-2811

開会

- 主催者挨拶 宮元 陸 (北前船寄港地フォーラム in 加賀橋立・山中温泉実行委員会会長、加賀市長)
- 来賓挨拶 田村 明比古 氏(国土交通省 観光庁長官)

基調講演

【テーマ】

- ・北前船寄港地を日本遺産に 石川 好 氏(北前船寄港地フォーラム議長、作家)
- ・加賀の魅力を掘り起こす 宗田 好史 氏(京都府立大学教授)
- ・加賀料理の特色 道場 六三郎 氏(料理人)

パネルディスカッションA「加賀ていねい」

パネラー 北前船関係者、伝統工芸関係者、加賀温泉郷の旅館主人・女将・若手 等

パネルディスカッションB「現代の北前船航路」

コーディネーター 水嶋 智 氏(国土交通省 大臣官房審議官(鉄道局担当))

パネラー 西日本旅客鉄道株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、北海道旅客鉄道株式会社、全日本空輸株式会社、日本航空株式会社

閉会

歓迎レセプション 午後6時～午後7時30分 **要申込** **参加費有料**

【会場】山中温泉 翠明(石川県加賀市山中温泉東町1-ホ10) TEL.0761-78-1616

研修

現地視察(定員制限有) 午前8時45分～午前10時30分 **要申込** **参加費無料**

北前船の里資料館、重要伝統的建造物群保存地区「加賀橋立 北前船主集落」の視察

特別公演 午前11時～午後0時30分 **要申込** **参加費無料**

【会場】山中温泉文化会館(石川県加賀市山中温泉西桂木町ト5) TEL.0761-78-3311

演奏/本條 秀太郎 氏(三味線演奏家・作曲家)

日本の代表的民謡、山中節は日本海の南から北への
交易により洗練されて今に在ります。
その民謡の物語をお聴きください。



北前船の里資料館



加賀橋立 北前船主集落

アクセス マップ



▼お申込みを希望される場合は事務局までご連絡をお願いします。

【事務局・お問い合わせ】

北前船寄港地フォーラムin 加賀橋立・山中温泉 実行委員会

〒922-8622 石川県加賀市大聖寺南町二41番地 加賀市役所経済観光部 観光交流課内
TEL.0761-72-7900 FAX.0761-72-7991

〈平成27年度地域づくり総合交付金事業〉

江差追分会館ユニバーサルデザイン化事業

〈所管課：追分観光課〉

事業費：12,692千円

【補正財源構成】道支出金5,600千円 一般財源7,092千円

事業概要

老朽化に伴い修繕が必要な個所の改修と同時に、江差追分会館に新たな付加価値を加えるために、身体障がい者や高齢者などにも配慮し快適に利用できる「ユニバーサルデザイン」の考え方を導入した施設・設備の改修を行う。

1 資料館展示資料製作	2 伝習演習室観客席UD化	3 駐車場側入口リニューアル	4 その他の修繕
①資料製作委託 1,130千円 ・故障した映像モニター、再生機器交換と同時に所蔵ソフトを操作無しで鑑賞できるよう展示への変更と展示位置を入れ替える。	①客席UD化 1,685千円 ②備品購入費 582千円 ・車いす使用者などが、気兼ねなく健常者と一緒に鑑賞できるスペースづくりのために畳を一部撤去しフローリング化する。 ・イス席用のパイプイス購入する。	①風除室 5,400千円 ②落雪・雨だれ 450千円 ③スロープ新設 1,248千円 ・駐車場側入口の利便性向上のため、風除室及び落雪防止など入口の改修と車いす用スロープを新設する。	①屋根塗装 1,633千円 ②排煙窓改修 564千円 ・腐食箇所が屋根全体に点在していることから、補修塗装を行う。 ・故障により開閉しなくなった資料室側の排煙装置を修繕する。
			

かもめ島上建築物被害状況

平成27年10月1～2日の暴風により北側壁面が剥離、崩落したことから、崩落の拡大防止と飛散防止のため応急的に修繕を行う。



いにしえ街道「憩いの場（湧水）」環境整備事業概要

【事業費】400千円

＜建設水道課＞

事業の目的

平成27年10月2日「日本で最も美しい村連合」に加盟となりました。本町からエントリーした地域資源等は、江差追分、姥神大神宮渡御祭などの歴史的文化遺産の他、「いにしえ街道」の景観も組み入れております。

いにしえ街道は、そのまち並みの景観のみならず、土蔵活用や花壇整備など街区住民の活動で景観が保たれており、町民と協働したまちづくりが評価されたものであります。

日本で最も美しい村連合の加盟や平成28年3月26日北海道新幹線開業を契機に、多くの来訪者を迎える基盤と町民が憩える環境整備を図ることを目的に、まちづくりイメージアップ戦略プロジェクトの第一弾事業として実施。

事業の概要

- 整備内容 町会所会館地下からの湧水を活用し、手押しポンプを設置（設置個所及びイメージ図→別紙）
※現在、いにしえ街道内には、華の会が自主的に整備した湧水箇所が3か所。
湧水箇所の増設を図り、憩いの空間や町並み整備を図っていく。
- 事業費 400千円（定住自立圏特別交付税活用）
- 事業期間 平成27年11月～平成28年3月

町会所会館→



<いにしえ街道「憩いの場(湧水)環境整備事業>

13

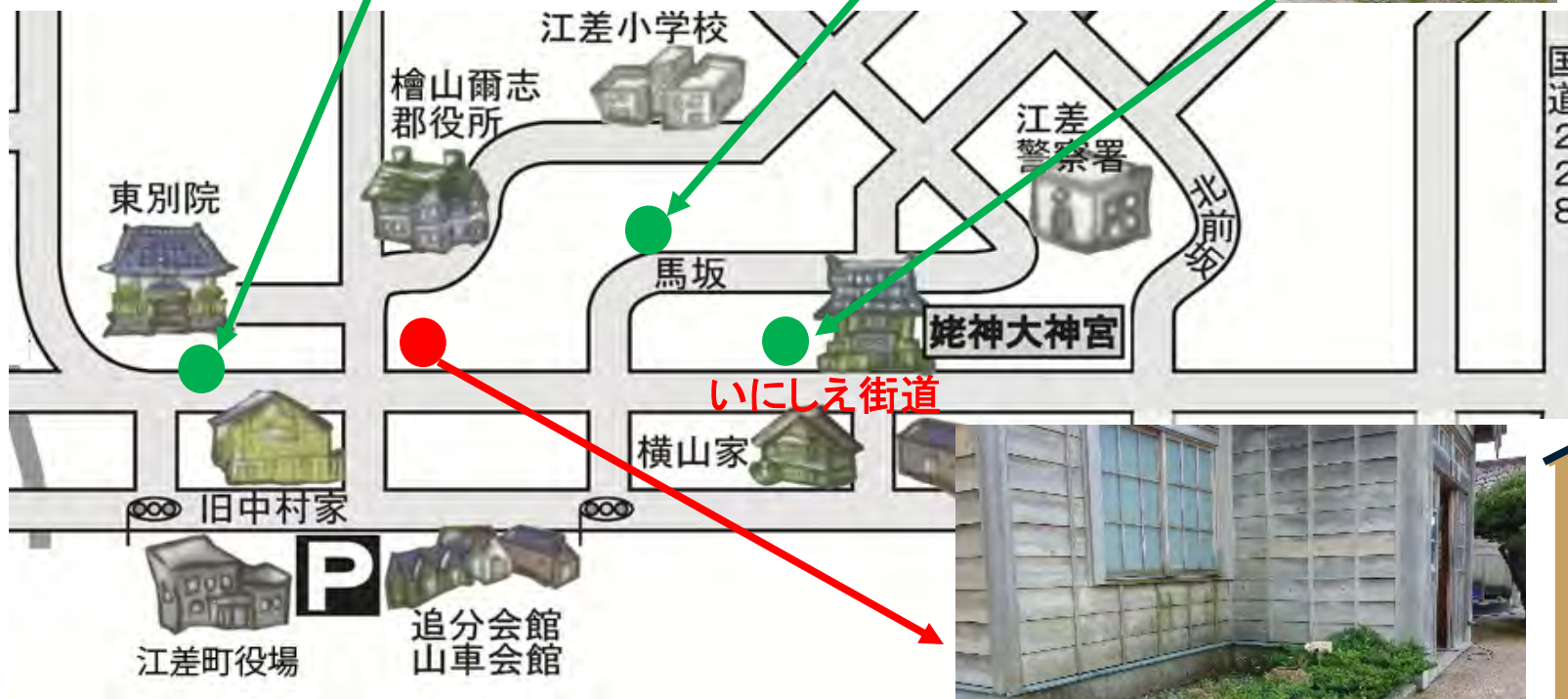
既存、湧水設置個所
(東別院)



既存、湧水設置個所
(馬坂)



既存、湧水設置個所
(横山家向い)



今回整備個所(町会所会館)



この水は飲めません



(株)ユーラス江差風力寄付金充当事業の概要

1. 寄付金総額 1, 6 0 0 千円

2. 充当事業

事業名	補正額	寄付金充当額
学校図書整備（町内全小中学校）	1, 4 3 0 千円	1, 4 0 5 千円
フローカーリング整備	2 0 0 千円	1 9 5 千円
合計	1, 6 3 0 千円	1, 6 0 0 千円

※補正額と充当額の差は一般財源

3. フローカーリング

1993年に北海道の新得町で考案された室内競技。氷上のカーリング同様に作戦を立てゲームメイクしながら適度な全身運動が可能。



江差中学校グラウンド整備工事湧水対策概要

15



湧水状況（敷地南東部）



資料11